

学校、家庭感染の連鎖

県内最多182人 40人経路調査中

福井県が26日発表した過去最多の新規感染者182人のうち、30系統40人は現時点で感染経路が特定されていない。新変異株「オミクロン株」の感染者のほとんどは軽症・無症状者。感染のつながりが見えにくく、調査の壁になっている。

【一面に本記】

県によると、オミクロン株の可能性が高い県内感染者の約6割に37.5度以上の発熱があるのに対し、12歳未満に限ると35%にとどまる。どの痛みなどを訴える子どもの割合も大人に比べ少なく、「症状がはっきりしないケースが多い」（県対策チーム）。

明確な症状がある患者が確認された後で周辺を検査すると、既に家族全員が感染していたり、学校内に複数の感染者がいたりするケースが相次いでいるという。県は「大人の感染が家庭から学校や保育施設に持

ち込まれて広がり、また、他の（）家庭に及んで職場を含めて拡大する。その繰り返しになっていると明かす。

1月に入り、県が校内や

福井市	45
学校関連(個人の市町非公表分)	41
幼稚園・こども園・保育園	29
鯖江市	18
敦賀市	13
坂井市	10
越前市	8
越前町	6
永平町	3
あわら市、小浜市、県外	2
大野市、美浜町、若狭町	2
非公表	1

26日発表の新規感染者

入院	241人(+4)
入院	63人(+3)
療養施設	178人(+1)
重症	1人(0)
自宅観察	595人(+112)
うち直接自宅	526人(+111)
速入院	3794人(+66)
死亡	38人(0)

新型コロナの県内状況
感染者累計
4668人(+182)
直近1週間の新規感染者 (1月20日~26日)
872人

園内での感染の広がりを確認した学校は18校、幼稚園・子ども園・保育園は9施設に達した。県教委と市町教委によると、27日は公立

小中高19校が休校または学年、学級閉鎖する。軽症・無症状者の多さは行動の抑制も難しくしているとし、県健康福祉部の宮下裕文副部長は「軽い熱でも通勤や登校を控え、熱が下がっても(無料検査などを活用して)陰性を確認してからにしてほしい」と呼び掛けた。

このほか、福井市は公民館勤務を含め職員3人の感染を発表した。市民やほか

の職員に濃厚接触者はいないという。越前市も職員1人の感染を発表。市民との接触はないという。

永平寺町は、山口真副町長の感染を公表。15日から別の病気療養で登庁しておらず、職員に濃厚接触者はいないため、同町は通常業務を続ける。

関西電力は大飯原発に勤務する協力会社従業員1人の感染を発表した。京都府で検査を受けたため、県の発表分には含まれていない。(取材班)